

令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

稲敷市 解答と解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	寄棟造りの茅葺き屋根が特徴の 平井家住宅 は、建築された年代は不明ですが、建築の構造が古いことや、平井家先祖の記録、新利根川が開削(かいさく)された時代背景などから、江戸時代の寛文年間(1661年～)には建てられたと考えられています。関東地方では屈指の古さの民家といえることから、1976年(昭和51年)国から重要文化財の指定を受けました。	4
2	国指定の重要文化財である 横利根閘門(よことねこうもん) は、水位差がある利根川と横利根川とを船舶で航行できるようにするための施設です。完成から90余年を経た現在も、釣り船やプレジャーボートなどがこの閘門を利用しており、扉の開閉や水位調整のしくみを見ることができます。	1
3	阿波崎(あばさき)にある 観音寺(かんのんじ) は、第7代横綱稲妻雷五郎(いなづまらいごろう)が、力士になろうと「仁王様の指1本分だけでもお力をお授け下さい」と願をかけたとされるお寺です。雷五郎の願いが叶った日には、仁王様の指が1本落ちており、それから無双の怪力となり、入幕以来異例の速さで横綱にまで昇進したという話が残っています。	3
4	神崎(こうざき)大橋 は、全長約535メートルの橋で、1967年(昭和42年)5月に開通しました。 水郷大橋 は、全長約535メートルの橋で、1936年(昭和11年)3月に開通し、どちらの橋も千葉県香取市と繋がっています。	4
5	稲敷市は釣りのメッカとして知られ、関東一円からブラックバス釣りの愛好家がルアーフィッシングに訪れています。毎年6月には和田公園で、 稲敷BASSトーナメントin霞ヶ浦 が開催され、多くの人でにぎわいます。	2
6	ネスレ霞ヶ浦工場 は1978年(昭和53年)に完成しました。キットカットの他、「ブライト」や「ミロ」等の商品も製造しています。日本で販売されているキットカットは全国でここのみ作られています。	1
7	「あんぺら」とはあんぺら草で編んだ袋に入れて黒砂糖が運ばれたことから、「ぼん」とは竹筒の底に錐(きり)で穴を開けすすって食べた際に「ぼんっ」と音が鳴ることから「あんぺらぼん」と名づけられました。	2
8	稲敷市の北東部に位置する浮島は、かつては霞ヶ浦に浮かぶ島で、製塩を生業とする人々が暮らしていたと考えられています。奈良時代に編纂された常陸国風土記には居(す)める百姓、塩を焚(や)きて業(なりわい)と為す。(住んでいる人々は、塩を焼いて生計を立てている。)という記述がみられます。	2
9	玄米の表面がミルク(牛乳)のように白濁している状態から、 ミルククイーン と命名されました。稲敷市がミルククイーンのふるさとと言われる理由は、農林水産省のスーパーライス計画(新しい米の品種を開発するという研究事業)で、ほんの一握り採れた、当時はまだ名前もなかったミルククイーンを最初に栽培したところだからです。	3
10	茨城ゴールデンゴールズ は、「欽ちゃん」ことタレントの萩本欽一(はぎもと きんいち)が2005年(平成17年)に創設し日本野球連盟に加盟する社会人硬式野球クラブチームです。2019年(令和元年)に新しくなったユニフォームの右袖には、「 稲敷市 」の文字が入られています。	1
11	福田(ふくだ)貝塚 は、霞ヶ浦南岸の阿波丘陵(あばきゅうりょう)に位置し、標高は20～30メートルほどで、起伏の少ない丘陵にあります。明治20年代以降、数10回の発掘調査の結果、土器・土偶、磨製石斧(ませいせきふ)・砥石(といし)など石器類、骨角器などが多量に出土されました。福田(ふくだ)貝塚から出土した人面装飾付注口土器は国の重要文化財に指定された縄文晩期の逸品(いっぴん)です。	4
12	毎年6月8日に行われる寝釈迦の花まつりは「 腰巻おがみ 」の名で広く知られています。持参した腰巻や下着などに朱印を押し、仏前に供えて無病息災を祈願してもらい、これを着用すると、下の世話にならずに往生できるといわれており、江戸時代初期から現在まで続けられています。	2
13	首都圏中央連絡自動車道 は、都心からおよそ40キロメートルから60キロメートルの位置に計画された高規格幹線道路です。2014年(平成26年)4月12日に稲敷・神崎間、さらに2015年(平成27年)6月7日には大栄ジャンクションが開通し、茨城県と千葉県が繋がりました。また、2014年(平成26年)7月11日には江戸崎パーキングエリアがオープンしました。	3
14	稲敷の広々とした土地を利用し、江戸崎カントリークラブを始め、 9か所 のゴルフ場があります。県内外から毎日たくさんのゴルファーが訪れ、プレーを楽しんでいます。	2
15	大日苑(だいにちえん) は、江戸崎入干拓(えどさきいりかんたく)を始めた植竹庄兵衛(うえたけしょうべえ)が、自らの居住のために1939年(昭和14年)に建てた住居です。1944年(昭和19年)には、皇族で鹿島海軍航空司令官であった久邇宮朝融(くにのみや あさあきら)殿下が、一時別邸として使用し、戦後は結婚式場などに利用されました。建物は、洋風建築と和風建築を折衷した木造2階建てで、外部意匠(デザイン)は、玄関から2階部分にかけては アール・デコ 風であり、座敷の部分は伝統的 和風 意匠となっています。	1
16	こもれび森の イパライド は、四季折々の自然が楽しめる都市近郊型の農業公園で、園内では動物と触れ合うことができるほか、グルメ体験、クラフト体験、遊具やアスレチックなどのアクティビティが楽しめます。2019年(令和元年)には、開園 20周年 を迎え、1年を通して様々な記念イベントが行われています。	4
17	稲敷市の総面積のうち、 39パーセント が田です。稲敷市は、豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれた水と緑にあふれた田園都市です。	4
18	2006年(平成18年)に稲敷市の「花、木、鳥」が制定され、稲敷市の花は「 キク 」木は「 サクラ 」鳥は「 ウグイス 」となりました。	2
19	関口八兵衛(せきぐち はちべえ) 家は、江戸時代中期から昭和初期にかけて醤油醸造業を中心に活躍しました。明治時代には、国内はもとより海外でも自社の製品が高い評価を得、パリ万国博覧会では入賞を果たしています。また、郷土の名士として、鳩崎(ほとざき)小学校(現在の稲敷市教育センター)や地域の総合病院の設立にも深くかかわり、教育や福祉においても大きな貢献を行いました。	3
20	毎年11月になると、 ロシア のカムチャッカ半島からはるばるやってきます。関東地方では唯一のオオヒンクイの飛来地であることから、県外からも大勢の見物客がバードウォッチングに訪れます。	1
21	妙岐ノ鼻(みょうぎのはな) は、東京ドーム約10個分もの広大な湿原で、関東では最大級の面積といわれ、マコモ、ガマ、カモノハシなど湿性植物の群落もあり環境省の特定植物群落として指定されています。	4
22	haneyasume は、空き家となっていた築41年の古民家を改修して作られた「いなしき暮らしお試し住宅」です。haneyasumeの名称には、渡り鳥が羽を休めるように、「限りなく都会に近いローカル」稲敷市で四季を感じる田舎暮らしを体験してもらえたらという願いが込められています。	2
23	稲敷市とカナダの サーモンアーム市 との姉妹都市調印式が2006年(平成18年)3月27日に江戸崎庁舎にて行われました。サーモンアーム市とは旧東町が1990年(平成2年)に姉妹都市を結び、親善交流を行ってきました。合併により誕生した稲敷市もこの交流事業を引き継ぎ、将来にわたって両市民の友好と交流の発展を願い、姉妹都市の再調印を行いました。	3
24	いなしき夏まつり花火大会は、1956年(昭和31年)から行われている歴史あるイベントです。花火の打ち上げ数は、約 10,000発 と県内有数の打ち上げ数を誇ります。	4
25	新利根地区では約30軒の農家が、 イチジク を年間30トン近く生産しており、各地の市場で高い人気を得ています。口の中にほんのりと広がる独特の風味を持つ新利根産のものはとても人気があります。また、JA稲敷新利根加工所の「いちじくジャム」は、全国各地から注文が集まり、栄養のバランスもよく、自然食品として注目されています。	3